

MPLSベースのIP-VPNによりセキュアな音声とデータ統合を実現—企業のVoIP活用を加速—

NTTコミュニケーションズは「音声こそインターネットのキラーアプリケーション」との主張のもと、付加価値の高い各種のVoIPサービスを開発。昨年1月にスタートしたMPLSベースの「Arcstar Global IP-VPN」は、カバレッジの拡張により、日系企業はもちろん、非日系企業にも実績が出始めている。Arcstar事業部の三上哲郎IP事業開発部長が次代のIP戦略を語る。

NTTコミュニケーションズのVoIPへの取り組みは約3年前からですが、当時はこのVoIP技術は、かなり疑問視されるような状況でした。音質面での問題もさることながら、通信トラフィックはデータが音声の2倍(2003年)になり、さらにその差は開いていくばかりと予測されていました。

しかし、収入面をみますとこれが大きく逆転いたします。同様に2003年での比較において、モバイルを含めた音声収入はデータ系の7~8倍という予測もあります。インターネット時代の中で、すでに音声は古くデータ主役の時代だ、という声もありますが、むしろいつでもどこでも話ができる音声こそがインターネット時代のベスト・コンテンツ、あるいはキラー・アプリケーションそのものと確信しています。

着実な浸透をみせるVoIPアプリケーション

VoIPの成長率は利用時間でみると、2000年が50億分間、2001年が100億分間ということで、国際電話の6.7%に当たります。今後急速にこの分野の伸びが期待されるものとみて、間違いないでしょう。

当社ではいま、「NTTコミュニケー

ションズクリアリングハウス」と呼ぶVoIPサービスを展開しています。このサービスはIPで国際電話サービスを提供したいプロバイダー同士を接続しようというものです。

例えば200カ国と電話によるコミュニケーションを構築したい時にメッシュで接続すると2万回線が必要になりますが、このサービスを利用いただくと、クリアリングハウス自体がハブの機能を果たしますので、プロバイダーからすれば、クリアリングハウスに一回契約するだけで、呼設定や料金、品質保証等いろいろな付加価値を含めて世界中とつながってしまう、というわけです。

今回新たにご紹介したいサービスが「クリアコンファレンス」です。これは、VoIPベースで電話会議が可能なほかPowerPointやExcelシートをデータシェアリングできるというもので、2002年1月からサービスを開始しております。

G.711無圧縮方式を採用しており音声も良く、加えて通話料金は通常の電話会議よりずっと安く(約半分)利用できます。

このコンファレンスコールは急激に需要を伸ばしております。すでにJP



NTTコミュニケーションズ株式会社
Arcstar事業部
IP事業開発部長 三上哲郎

モルガン社を始め多数金融機関等で利用されており評価をいただいています。特にアメリカの金融機関では、テロの影響もあって、このサービスを活用し、出張等は控える動きも出てきています。

このようにVoIPを利用した付加価値の高いサービスが開発されるに従い、企業のVoIP利用もますます広まっていくものと期待されます。

次代を期待されるMPLSベースのIP-VPN

調査会社のヤンキーグループの予測によりますと、MPLSベースのIP-VPNの市場規模は、2005年には約3000億円に成長するという事です。IP-VPNには、IP SecやMPLS、そしてネットワーク型や端末型など、さまざまな種類がある中で、最も注目され

ているのが、私どもで取り組んでいますMPLS(マルチ・プロトコル・ラベル・スイッチング)です。

企業にとって一番重要なのがセキュリティの保障といわれています。データを暗号化するIP Secを利用したIP Sec型のIP-VPNは、セキュリティの保障ができるのですが、音声とデータの統合までは困難な状況です。

これに比べて、MPLSによるIP-VPNであれば音声とデータの統合が可能です。

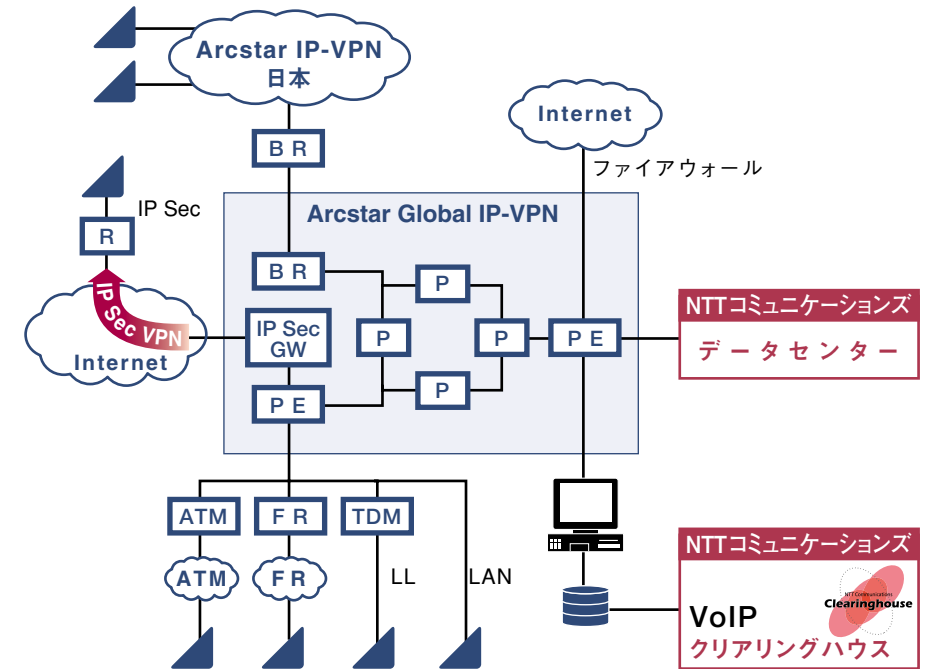
MPLSはクロズド・ネットワークですから、ネットワークの構成自体がセキュリティを保障していることになり、したがって暗号化等の処理も不要です。高速かつハイスループットなサービスが提供できるだけでなく、音声も画像も統合できるというわけです。

MPLS型IP-VPNのネットワーク・エッジにプロバイダー・エッジ・ルーター(注:キャリア所有のルーター)を置いて直接アクセスすれば、ユーザー宅内には特殊なIP機器やWAN機器を置く必要がありませんので、運用管理面でユーザーの負担は大きく軽減されます。

NTTコミュニケーションズでは2001年1月にスタートした「Arcstar Global IP-VPN」がこのMPLS型IP-VPNサービスになるのですが、2000年にスタートした国内の「Arcstar IP-VPN」と併せて約1600社のユーザーにご利用いただいております。2001年度末には3万9000ポート以上の開通を見込んでいます。

特に、多国籍企業などのグローバルな企業活動をされますユーザーからは、

「Arcstar Global IP-VPN」の豊富なアクセス形態



誰とでも通信できるAny to Anyの環境が強く要求され、かつ高速性と通信コストの削減も不可欠になってきます。こうしたユーザー・ニーズにArcstar Global IP-VPNはお応えします。また当社のIP-VPNサービスの利点として、ネットワーク・マイグレーション時に効果を発揮できる、という点があげられます。

現在、レイヤ2をフレームリレーやATM、あるいは専用線で使っているものも、レイヤ3はほとんどがIPベースになっていることが多いものです。このような時、一気にネットワークを切り替えるのではなく、ある拠点だけをMPLS型のIP-VPNにすることが可能です。つまり、当初は、フレームリレーとMPLSを共存させ、その後、徐々に完全なMPLS型のIP-VPNに切り替えていくことができます。

完全なメッシュ型のIP-VPNへの移

行により、音声などのメッシュ型のアプリケーションが利用可能となります。これらのことから、VoIPとの共存も可能になり、例えば、昨年開始した企業向けの「ePBXパッケージ」とIP-VPNとを組み合わせることで、多国籍企業向けに音声品質保証というサービスも可能になります。

当社では今後、カスタマサポートなどのポスト・セールスに重点を置き、すべてのユーザーに、グローバル・ベースでVoIPやIP-VPN、データセンターなどのトータルソリューションを提供していきます。

お問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ株式会社
 Arcstar事業部 IP事業開発部門
 TEL: 03-6800-4100
 E-Mail: info@clearinghouse.ntt.com
 URL: http://clearinghouse.ntt.com/
 http://www.ntt.com/globalipvpn